

各 位

会 社 名 ローツエ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 崎 谷 文 雄  
 (JASDAQ・コード 6 3 2 3)  
 問 合 せ 先 執行役員管理本部長 橋本 勲  
 電 話 084-960-0001

## 2011年2月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2010年4月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

(1) 2011年2月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(2010年3月1日～2010年8月31日)  
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,500	152	133	56	3 38
今回発表予想(B)	4,438	382	408	294	17 56
増減額(B-A)	938	230	275	238	—
増減率(%)	26.8	151.3	206.8	425.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績(2010年2月期第2四半期)	902	△687	△582	△369	△21 54

(2) 2011年2月期通期連結業績予想数値の修正(2010年3月1日～2011年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,500	455	404	180	10 72
今回発表予想(B)	10,207	920	895	584	34 79
増減額(B-A)	1,707	465	491	404	—
増減率(%)	20.1	102.2	121.5	224.4	—
(ご参考)前期実績(2010年2月期)	3,610	△1,115	△953	△663	△39 00

#### 2. 個別業績予想の修正

(1) 2011年2月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(2010年3月1日～2010年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,900	1	9	2	0 13
今回発表予想(B)	2,158	△57	△38	△11	△0 66
増減額(B-A)	258	△58	△47	△13	—
増減率(%)	13.6	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績(2010年2月期第2四半期)	499	△391	△342	△224	△13 11

## (2) 2011年2月期通期個別業績予想数値の修正(2010年3月1日～2011年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	4,100	55	24	6	0 38
今回発表予想(B)	4,900	56	26	21	1 30
増減額(B-A)	800	1	2	15	—
増減率(%)	19.5	1.8	8.3	250.0	—
(ご参考)前期実績 (2010年2月期)	2,163	△677	△574	△370	△21 78

## 3. 修正の理由

## (1) 連結業績予想の修正について

当業界では、パソコン、液晶テレビ、スマートフォンなどの需要拡大に伴い、DRAMやフラッシュメモリなどの半導体や、液晶パネルの生産が活発となっており、台湾、韓国、中国等を中心に、積極的な設備投資が行われております。そのため、当社グループにおきましても、特に台湾、韓国でウエハ搬送装置やガラス基板搬送装置の受注が大きく増加したため、売上高は予想以上に好調に推移しております。このような設備投資の状況や当第1四半期の業績等を勘案した結果、今後もさらに受注及び売上高の増加が続くものと見込まれることから、第2四半期連結累計期間及び通期の売上高を上方修正いたします。

損益面につきましても、売上高の増加に伴い一層の利益回復が見込まれる状況となっております。このような状況を総合的に勘案し、期初計画を見直した結果、第2四半期連結累計期間及び通期の営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ上方修正いたします。

## (2) 個別業績予想の修正について

個別業績予想につきましても、半導体設備投資の増加に伴い、当社の主力製品でありますウエハ搬送装置の受注及び売上高は回復してきております。一方、損益面では、新規開発品等のコスト増加、原材料価格の上昇に加え、受注増加に対応するため、これまで節減してまいりました人件費や経費の増加が見込まれることなどから、依然として厳しい状況が続くものと予想しております。このような状況から、第2四半期累計期間及び通期の個別業績予想をそれぞれ修正いたします。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上